

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市地域福祉計画進行管理委員会
開 催 日 時	平成30年3月27日(火) 午前10時 開会 ・ 午前11時 閉会
開 催 場 所	入間市役所B棟4階 大会議室
議 長 氏 名	栗原正明
出席委員(者)氏名	橋本清美 山下恵久子 齋藤勝久 臼井 秀 白水 翠 下里隆子 宮岡幸江 幡野敏彦 永田香世子 栗原正明 伊藤祐一 橋本康夫 高橋康造
欠席委員(者)氏名	
説明者の職氏名	福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主事 松本幸文 主事補 東条奈未
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議事録署名人の選出について 4 議 題 (1) 平成29年度第2次入間市地域福祉計画を進めるにあたって の市の主な取り組み及び進行管理報告書について(公開) (2) 委員任期満了に伴う次期委員の委嘱について(公開) 5 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・平成28・29年度「元気ないるま福祉プラン」における主な取り組み【資料1】 ・入間市地域福祉計画 取り組み評価一覧【資料2】 ・平成29年度第2次入間市地域福祉計画進行管理報告書(案)
事務局職員職氏名	福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主事 松本幸文 主事補 東条奈未
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

議 題

- (1) 平成29年度第2次入間市地域福祉計画を進めるにあたっての市の主な取り組みについて
 - ・資料に基づき事務局より説明を行った。各委員より質疑及び意見交換が行われた。
- (2) 平成29年度入間市地域福祉計画進行管理について
 - ・事務局より平成29年度第2次入間市地域福祉計画進行管理報告書(案)について説明を行い、各委員より内容について協議が行われた。報告書については修正を行い確定する。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する) 第3回会議の議事録署名人は、名簿順に従い下里委員となりました。
事務局	(議題の(1)「平成29年度第2次入間市地域福祉計画を進めるにあたっての市の主な取り組みについて」事務局から資料を基に説明)
栗原委員長	今の説明に対するご意見、ご質問など何かありますか。
宮岡委員	子育て支援事業について、「いるティーきつずとよおか」と「いるティーきつずふじさわ」の名前が2つ出ていますが、相談件数は「とよおか」だけの相談件数なのでしょうか。
事務局	「いるていーきつずとよおか」だけになります。「ふじさわ」は地域保険課が担当しておりまして、相談件数が他の業務の相談件数と合わさっているので、いるティーきつずだけの件数を出すのは難しいという担当からの回答がありましたので、「とよおか」だけ記載させていただきました。
宮岡委員	この資料1は市民の方に見てもらえるものですか。
事務局	こちらの資料1については公開対象となっております。
宮岡委員	これだとふじさわの方が全然相談がないように思えるので、何か工夫して文章を入れた方がいいと思います。
浅見主幹	資料1につきましては、オープンな形で公表はしないものとなっております。

発 言 者	発 言 内 容
伊藤委員	<p>す。これから説明させていただく報告書については公表をさせていただくものとなります。ただ資料1に関しても請求があれば情報公開していく対象になりますので、改めて数字の確認をしていきたいと思っています。</p> <p>生活困窮者自立相談支援事業のこどもの学習支援事業を実施しましたということで、相談者数253件、教室参加者数27人とありますが、どのような相談内容があり、どのような学習支援をやってきたのでしょうか。また、障害者基幹相談支援センターの相談内容はどのようなものですか。</p>
小久保課長	<p>困窮者の方の相談支援事業につきましては、生活保護は受けませんが、生活に困っているという方のご相談が多いです。具体的には職が無くなって、アパートなどの家賃も払えないのでなんとかならないかといった相談や、明日食べるものもないですといった方もいらっしゃいます。その様な方の就労支援や家計の相談でお金の使い方等、日常生活にかかわるような相談から就労まで細かく対応しております。こどもの学習教室というのは生活困窮世帯だけではなく、いじめで学校を不登校になっている子もおりますので、学習指導をしながら学校に行けるような取り組みですとか、貧困の連鎖にならないように、高校卒業くらいまではなんとかしていけば困らないで今後生活できるだろうというところで、中退しないような取り組みをしております。あまり大々的な宣伝はしておりません。生活困窮者世帯のお子さんであることを宣伝することになってしまいますので、生活保護世帯のお子さんなどを対象にこういう教室がありますということを案内しております。大々的に宣伝はしていないので一般的に知っている方はあまりいないかと思えます。</p>
伊藤委員	<p>具体的に何日くらいやっているのですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小久保課長	週に1、2回行っております。夜にやっておりますので、遠い方は来られないというのが問題となっております。市内2か所に増やして開催しております。
下里委員	障害者基幹相談支援センターですが、事業所サポートですので、個人的な相談は市役所3階のりぼんとか事業所が持っている個人対象のところ等に相談に行くのですが、基幹は事業所が困ったことがあったときに相談に行くところなので、こちらの相談件数には個人的な相談は入っていないと思います。
橋本（清）委員	徘徊身元確認支援サービスの爪Qシール、かかとステッカー、キーホルダーですが、物を見たことがないので、もし物があったら見せていただきたいと思います。今こどもが6人に1人に障害があるといわれておりますので、これからこどもの徘徊も出てくると思います。高齢者だけではなく、使える形にしていればありがたいと思います。
下里委員	障害のある方やこどもとかも申請すれば大丈夫ということで、市の障害者支援課の方でも対応してくれるのですよね。爪Qシールは爪に貼れるもので目立たなくて、剥がれにくいものになっています。爪Qシール、かかとステッカー、キーホルダーはセットでもらえるものです。
栗原委員長	耐久試験として私も貼っていましたが、2か月くらいは平気です。
小久保課長	QRコードを読み取れるように設定してあれば、その人の特定番号が出てきます。入間市が初めて取り組んだということで、スウェーデン大使館等に説明しております。

発 言 者	発 言 内 容
浅見主幹	<p>こどもに関する部分ですが、まだそこまでいっていない段階となっておりますので、機会をみてそういったご意見をいただいたということは担当者に伝えておきます。</p>
橋本（清）委員	<p>これは民生委員の方も知っているものなのではないでしょうか。</p>
浅見主幹	<p>はい。公表はしているものになります。ただ、個別の説明会等はしておりません。</p>
齋藤委員	<p>1年半近くたっていますけれども、利用者数72名のうち3名が実績があり、全国的に注目されているということですが、1年以上経っていて72名というのはどうなのでしょう。</p>
浅見主幹	<p>初めての取り組みということで注目はされていますが、十分に周知がまだされていないことと、それを利用する理解がまだ進んでいないということで、今後の課題になるかと思えます。</p>
齋藤委員	<p>それだけの注目度があるのであれば、もう少しPR活動に力を入れてはどうでしょうか。</p>
栗原委員長	<p>個人情報に関係もあって今のところは先程も申し上げたように、この人は人間市で登録している何番の方というところまでしか出ません。全国的に注目されている中で、この取り組みに注目されている方は、もっと色々な情報を入れたいと思っています。メーカーとしては、薬の情報を入れて保護したときにすぐその人が必要な薬だとか飲ませてはいけない薬だとかがわかるようなことがしたいのだけれども、個人情報の関係で、そこが難しいところがあって、簡単に周知できない状況があります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
幡野委員	<p>爪Qシールについてですが、包括支援センターでも催し等があった際に周知をしたり、ケアマネージャーの方でも入間市でやっているという情報は入ってきておりますので、周知はされているのではないかと思います。</p>
栗原委員長	<p>他に何かありますでしょうか。</p> <p>それでは次に平成29年度の取組みを通して、計画の進行管理についての報告ですが、事前に事務局より報告書（案）が作成されておりますが、これにつきまして事務局より説明をお願いします。</p> <p>（「平成29年度入間市地域福祉計画進行管理について」を事務局から報告書（案）を基に説明）</p>
栗原委員長	<p>ただいまの事務局の報告書（案）の説明について、何かご意見ご質問等がありますか。</p>
伊藤委員	<p>爪Qシールの導入について先程も委員さんから爪Qシールとはどういうものかと質問があったかと思いますが、せっかく全国初の取り組みなので、注釈で説明文を追記した方がいいのではないのでしょうか。</p>
浅見主幹	<p>内容につきましては確認して追記させていただきます。</p>
橋本（康）委員	<p>安心して暮らせる福祉サービスをめざそうということで、拠点を作ることを目玉にしていました。拠点作りは全く進んでいません。市役所のワンストップ窓口ですが、実態としては拠点ができないからコーディネーターを配置できないので、社協の困りごと相談のところが実質ワンストップ窓</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見主幹	<p>口になり、大量の相談が来ています。このような状況に対応しなければいけないので、このような問題があつて、どのように見直しをするかということ報告書に書いて、次につなげていかなければならないと思います。</p> <p>コーディネーターについてですが、生活支援コーディネーターというのが新たに配置されていますが、関係がよくわからないので、どういう位置づけにするのかを検討していただきたい。ささえあい組織を9地区に置くということですが、地域の狭い所から立ち上がってきています。それについても支援しなければならないので、柔軟に対応できるように見直しをしなければならないと思います。</p> <p>整理させていただくと、ワンストップ窓口をこれからどのようにしていくのか、今どういう現状でこれからどのようにしていくのか、ということと地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーターの関係がどういふものであつて、何をしているのか、これからどのようにしていくのか、また、ささえあい組織についての支援、地域の拠点としてサービスを展開していくささえあい組織との行政との関係についての3点について現状と今後につなげる展開を含めた方がいいということでしょうか。</p>
橋本（康）委員	<p>コーディネーターがささえあい組織の拠点で（困りごと相談を行う）というのは建前ですが、実態としてはコーディネーターの方が困りごと相談の窓口になっています。社協で4千件もの相談があり、これだけの需要があるなら、伸ばしていけばいいと思います。しかしコーディネーターの本来の目的とは違うため、何らかの手を打たなければいけないと思います。</p>
浅見主幹	<p>ささえあい組織の方の関係というのもこれからどういった支援が必要かというのは具体的に進めていかなければなりません。それと併せて、生活支援コーディネーターと地域福祉コーディネーターと2つのコーディネータ</p>

発 言 者	発 言 内 容
伊藤委員	<p>一が支え合い組織に関係したり、困りごと相談をしている状況にあるというのをわかりやすく整理して、誰がどの役割を担っていくのかささえあい組織には誰がタッチしていくのか、そういった部分について現在協議している最中ですので、それも含めて今過渡期にある状況ですので、次につなげられるよう報告書に加えさせていただければと思います。</p> <p>今の話に関連して、ささえあい組織の立ち上げに際して社協と市の連携というか、文面で見ると、立ち上げた組織に対しては色々な支援を惜しみませんというように見えます。今立ち上げに取り組んでいる中で、あるところから市の方から是非このような組織を立ち上げてほしいという協力要請があったと聞きました。関係している者が、市の方に行っても、社協の方に行ってもよく話を聞いてもらえなかったみたいです。立ち上げの方向を、市が出してくれるのか、社協で請け負ってやっているのかそのあたりが分かりません。</p>
浅見主幹	<p>今、ささえあいについて具体的に計画の中で、9の圏域の一つずつ立ち上げて行こうというのが計画上にあって、そこはベースとして動かないわけです。支援していく方向として人的な支援と財政的な支援ということで考えていて、人的な支援については今社協にいる地域福祉コーディネーターが個別支援が中心になっていますけれども、併せて地域支援という役割を担っていますので、その意味でささえあい組織にも入って行っていただいて、立ち上げサポート、立ち上がった後の運営のサポートを中心となってやっていただきたいということを、本来はこの配置をしたときにもっと具体的な話を詰めておけばよかったのですが、それがあいまいな状況になってきてしまったというところがありましたので、ここで正式にその話を詰めているところでもあります。このあと新たにまた各包括支援センターの方に、生活支援コーディネーターが9人それぞれ配置される予定になってお</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ります。この方々は地域に一番近い住民のところに行っていますので、そこが窓口になる場合もあります。ただ社協に3人いて、各地区に1人ずついて、肩書名称がちょっと違いますけれども同じコーディネーターです。その社協の3人を中心に新たに配置される9人とタイアップしながら立ち上げや、運営のサポートを平成30年度は具体的にやっていくという話になっています。西武の地区においても伊藤委員がおっしゃるように立ち上げに向けての準備が進んでいらっしゃるということですので、もちろん入って行っていただいていると思いますので、そういう意味で人的な支援ということで今進めているところです。それと併せて、財政的な支援の面ではこれまで県の補助が使えたものがあつたのですが、それが平成29年度で終わってしまって、あとは行政と社協とこの2本立ての支援がこれから続いていくということになります。行政についてはこれまで具体的に市の方から支援というのはなかったのですが、平成30年度から圏域で発足している団体には月に2万円という助成をさせていただく、それは社会福祉協議会を通じて実施することになっています。社協については、立ち上がっている組織については、年に1万円という形での助成があるということで今用意されているものとなっています。それとは別に、行政側の話になってしまいますが、国の会計があります。そちらの中からも助成が出るということで、実際に昨年暮れから圏域レベルではない小さいコミュニティレベルでのささえあい組織に対して助成が始まっております。それについては平成30年度も引き続き継続していく予定になっております。何らかの財政的支援、それから地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーターを使った人的支援の2本立てでささえあい組織を支援しながら、立ち上げに向けて動かれているところに、バックアップをさせていただくと、運営をすでに始めているところにつきましてもそのサポートも含めて進めてまいりたいと考えております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
栗原委員長	今ご説明いただいたささえあいのシステムの複雑になっているところを整理するようなことや支援のことは報告書の方には読み取れませんが、それは新たに書き加えられますか。
浅見主幹	今進めている現状と、計画にはまだ達成できてない部分もありますので、そのあたり各ささえあいとコーディネーターとの関係等も含めて加えていきたいと思います。
橋本（康）委員	社協のコーディネーターは今回9地区に1名ずつ置くという計画になっているのですが、3名でまとまるのですか。
浅見主幹	財政的な問題になってしまうのですが、最初1名だったのが現在3名とだんだんと増えていっている状況なのですが、ここから先が非常に難しい状況になっております。
橋本（康）委員	生活支援コーディネーターの絡みをもっときちんと組織化してやれば十分に対応できるのではないのでしょうか。拠点といっても9地区に拠点をつくるというのは、本当に必要なかどうかということも合わせて考えていった方がいいのではないのでしょうか。
臼井委員	社協の側から言わせていただきますと、市の方は概念的な計画を出して、社協の方はそれについての活動をするということでタイアップすると、生活支援コーディネーターは今1名おりますが、人が集まらなく、計画案は国から示され、計画はあるのですが、財政的な面もあってなかなか手を挙げてやりたいという人がいないというのが現状です。先程9拠点でという話でしたが、東藤沢は世帯数が少ないから、たまたま一つの区域でできたのです。ところが、豊岡第2とか西武とか広い地域では一つでは絶対無理

発 言 者	発 言 内 容
橋本（康）委員	<p>だと思えます。小さいもので拠点を築きながら、包括と連携を取り、これから進めていくという感じになります。</p> <p>助成金は小さい組織はできるが、組織によって実情が違うから同じように扱うというわけにはいかないと思えます。ただ受ける方としては助成金はどこから出てきても結構ですから、あまり制約を設けずに窓口を一本化して市でまとめて運用していただきたいと思えます。</p>
浅見主幹	<p>市の予算だけの部分だとすると、すぐ動きが取れると思えますが、国の予算については会計監査院がおりますので、どういうものが対象でどういうものが対象じゃないのか精査して余ったら返すということになっておりますので、簡単には覆せないところでございます。なるべくみなさんにはご負担がないようにしていきたいと思えます。</p>
橋本（清）委員	<p>いるまシルバースマイルマップは9地区ごとに作られた地図ということですが、一般の方が目にできるような場所に貼られているのでしょうか。</p>
浅見主幹	<p>民生委員さんを通じて各地区の高齢者の方にはお配りいただいております。あとは各施設に配布されております。</p>
下里委員	<p>駐車場の入り口におそらく地域の民生委員さんがファイルにいれて濡れないようにして板に貼ってあるのを見ました。</p>
白水委員	<p>老人クラブ等いろんなところで配られているので、かなり周知されているように思います。</p>
栗原委員長	<p>残部については市役所のどこにあるのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見主幹	社会福祉協議会が作っております。
齋藤委員	<p>4まちづくりにつなげようの避難行動要支援者名簿について制度説明会を実施したとありますが、こちらは自治会が中心となり、危機管理課が担当していると思います。自治会員ではない人はなかなかそういうのは徹底できません。自治会離れをしている中で、特に高齢者が自治会の役員さんをやるのは大変だという話がよくあり、自治会を脱退したいという声が多く多いです。ですから、できるだけ多くの人が登録できるように考えていかないとなかなか進まないのではないかと思います。登録された名簿はあまり多くに広まっても個人情報の問題がある中、個人情報を知らないといけないというジレンマがあると思います。自治会としては難しい問題だと思います。主体は危機管理課でやるとは思いますが、よく危機管理課と調整してどのように進めていくのか具体的にやっていただけるといいと思います。</p>
浅見主幹	<p>今後についてですが、これは市報の配布と共通してくると思いますが、自治会に入っていない方に情報が伝わらないという状態でそのまま進んでしまうのは、防災防犯に関することだけではないと思いますけれども、どういった対応をしていくのかというところを確認しながら進めていきたいと思っています。</p>
栗原委員長	<p>他に何かご意見ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>特にないようですので、今後の予定について事務局より説明をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>それでは今日ご意見をいただいた内容を踏まえまして改めて加筆修正を加えまして、また、皆様方に郵送でお送りさせていただきたいと思います。</p> <p>そこでまた何かご意見があるようでしたら、おっしゃっていただいて、最終的には4月中にはまとめた形にして公表してまいりたいと思っておりますので、ご協力を頂ければと思います。</p>
栗原委員長	<p>最終的な報告の日時までは決まっていないのですか。</p>
浅見主幹	<p>まとめ次第ということになりますので、4月中にはまとめて、公式ホームページ等で公表していきたいと思います。</p>
栗原委員	<p>それでは議題（2）の委員任期満了に伴う次期委員の委嘱についてを事務局より説明お願いいたします。</p> <p>（議題の（2）委員任期満了に伴う次期委員の委嘱についてを事務局から説明）</p>
栗原委員長	<p>そうしますと3月末で任期が終わり、このメンバーでというのは今回が最後ということよろしいでしょうか。</p>
浅見主幹	<p>そういうことになります。</p>
栗原委員長	<p>それではこれで議題全て終了となります。全体を通して何かご意見ご質問等ございますでしょうか。</p> <p>それではこれで本日のすべての議題が終わりましたので、議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成30年5月18日

議長の署名 _____ 栗原正明 _____

議長が指名した者の署名 _____ 下里隆子 _____